

保護者様

中野区立白桜小学校長
宇賀神 佳子

「平成29年度 学校教育に関する保護者アンケート」まとめ

校庭の紅梅がほころびはじめました。寒い日が続いていますが、春はすぐそこまできています。

保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動についてご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

さて昨年12月にお願いしましたアンケート調査の結果がまとまりましたので、今後の学校の方針等をお知らせいたします。全家庭数の約94.1%にあたる320通の回答を寄せていただきました。

いただいた貴重なご意見と集計結果を生かしながら、来年度の白桜小学校の教育計画を作成しております。また、すぐに対応できることにつきましては、今年度内に実施してまいります。

（1）学校生活・思いやりの心の育成・教育目標に関して（項目1, 2, 4, 5, 12, 20）

「学校生活を楽しく過ごしている」については「十分・まあ十分」を合計した肯定的評価が97%と昨年度に続き高い評価をいただきました。また「一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動」や「たてわり班活動や係活動を通して、児童に人と関わったり自分の考えを伝えたりする力を育てている」の項目では、評価が上がり、学校の様々な取組みが児童の「協働する力」「参画する力」を伸ばすことにつながってきたと考えます。



【たてわり班活動】

たてわり班活動では、6年生が最高学年としての自覚を養い、低学年児童のことを考えて行動する姿が多くなってきました。そしてそれを傍で見ていた5年生も、次年度は自分たちが白桜をまとめていくのだと思いを高め、6年生の補助をするようになってきています。白桜の子供たちの優しさがこうした形で受け継がれていくことを、これからも大切にしたいと考えます。

今年度のあいさつ運動は、各学年でも取り組みました。代表委員会での「おハンドくん」、6年生「あいさつ仮面」5年生の紙芝居や垂れ幕等、3年生「世界の言葉でおはよう」、2年生の「あいさつ肩もみ作戦」など、各学年の創意を生かしたユニークな活動が展開されました。子供たちがそれぞれアイデアを出し合い、自分たちの活動に活かしていることが大きな成長であると考えます。そして、アイデアを活かして活動を活発にし、学校全体を盛り上げていくことこそ「参画する力」の育成に繋がると考えます。



【あいさつ運動】

今年度のあいさつ運動は、各学年でも取り組みました。

代表委員会での「おハンドくん」、6年生「あいさつ仮面」5年生の紙芝居や垂れ幕等、3年生「世界の言葉でおはよう」、2年生の「あいさつ肩もみ作戦」など、各学年の創意を生かしたユニークな活動が展開されました。子供たちがそれぞれアイデアを出し合い、自分たちの活動に活かしていることが大きな成長であると考えます。そして、アイデアを活かして活動を活発にし、学校全体を盛り上げていくことこそ「参画する力」の育成に繋がると考えます。

このように、児童が自分の考えや取組を友達や保護者の方々に発表し、その関わりのなかで適切さを自覚することで、自己肯定感を味わい、自信を付けていきます。これが「自律する力」になります。

今後も学校では児童が、学級や児童会活動等、集団の中で自分のよさを発揮し活躍できるように努めていきます。そして、このような取組の中で児童の他者を思いやる心や規範意識も合わせて更に伸ばせるようにしていきます。

(2) 授業・基礎学力に関して (項目3, 15, 16, 17, 19, 24)

「学習内容の基礎・基本を身に付けさせている」の項目は83%と昨年度に引き続き高い評価をいただきました。しかし全国や東京都さらには中野区の学力調査結果を分析すると、「自分の考えを根拠を明らかにして書く」などの項目で課題が見られるので、学校全体の課題として今後取り組む必要があります。また読書活動を通して語彙を増やしたり、論理的に考えたりする力は伸びてきているのでこの点においては今後も努力を重ねていきます。



【留学生との交流 6年生】



【外国語活動 1年生】

平成29年度は、27・28年度に続いて「中野区学校教育向上事業」の研究指定校として、外国語活動・外国語科の授業づくりについて研究を進めてきました。その成果もあり、白桜の児童は自分から自信をもって英語でやりとりを行っています。そしてまた、コミュニケーション能力の基礎は、他教科領域の中でも培われてきており、「相手の話をしっかりと聞く」ことのできる児童が年々増加していることが分かります。教員集団が努力していることが、このような児童の成長した姿となって表れてきているのは、実に嬉しいことです。次年度からは移行措置に入りますが、円滑に対応していきたいと考えます。

算数科については、今年度も少人数指導や放課後学習教室を実施し、児童の理解の定着を図ってきました。その成果は児童の「分かった!」「できた!」の喜びに繋がっています。基礎的・基本的事項の習得には、学校で学習したことを反復練習することで定着がより確実になりますので、家庭学習での取組も重ねてお願いいたします。今後は、自分の考えたことを筋道を立てて、説明できるようにすることも課題として取組んで参ります。

環境教育は、昨年度同様4年生社会科の「水」「ゴミ」の学習を通して自分の生活を見直すことを行いました。中野区清掃事務所の方から直接説明していただいたり、12月の社会科見学で、水上バスから中央防波堤を見たりすることで、東京のごみ問題が差し迫った問題であることも実感できました。さらに5年生では、エコ活動など地球規模に視野を広げ環境問題についての調査・CO₂削減に取り組んだり、実際に稲作を行うことで、有機農法等、環境に配慮した取組について学んだりしました。これからも、児童の実際の取組を通して、納得や実感を伴う学習にしていきたいと考えます。

「地域の環境や人材を教育活動に生かす」ことについては、昨年度よりさらに16ポイントアップして、肯定的評価が87%となりました。2年生での地域めぐり、3年生での地域の「町づくりの会」の方による安心安全のための町づくりのお話、4年生での「ダンスフィールド」の方々とのふれあい活動など、年々多様な活動が増えてきています。

特に6年生は、近隣の幼稚園や保育園にご協力いただき、キャリア教育の一環として職場体験をさせていただきました。園の方のお話を聞くなど、社会に触れ合う体験を通して、児童は一段と大人になったように感じます。また、アンサンブルの練習にも、保護者の皆様をはじめとする外部の方の指導をお願いして、大きな成果を上げることができました。



【アンサンブルの練習 6年生】

後期後半にも、保護者の方に仕事の様子を話していただく6年生のキャリア体験やモンゴルのエルデン・ダライさんによる馬頭琴の演奏等、外部の方々の協力を得て学習内容の充実に努めていきます。



【清掃事務所の方のお話 4年生】



【命の授業 2年生】



【お米の授業 5年生】

（3）学校改善や学校公開・学校の情報等に関して（項目6, 7, 8, 10, 11, 13, 14, 21）

学校の改善・情報発信や教育内容の充実（学校公開）等について、昨年度に引き続き高い評価をいただきました。中でも、「土曜授業の実施方法を工夫すること」や「地域・保護者と協力しながら子どもを教育している」「一人一人の児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている」の項目では、昨年度よりもさらに伸びを示しています。

学校では、保護者・地域の皆様と双方向での児童の育成を目指しています。学校公開日に限らず常に授業や活動を参観していただくようにしていますし、時には保護者の方と一緒に活動に参加していただき、児童に直接励ましの言葉をかけていただくように、お願いしています。こうした取組が、学校は「地域・保護者と協力しながら子どもを教育している」91%「一人一人の学習の成果や生活の様子を分かりやすく伝えている」93%という、評価の伸びに反映されてきたのだと考えます。

ご家庭では、学校での児童の学びを話題にしていただき、それを基に保護者の方々のお考えを児童に示していただきたいと願っています。また、児童に関する様々な悩みや相談についても、担任のほか、スクールカウンセラーや心の相談員、管理職等が対応していきますので、声をかけてください。

なお土曜公開日の回数は、中野区で年間8回の公開を義務付けられていますので、今後もこのようにしていきます。



【魚の授業 5年生】

（4）特別支援教育・安全指導等に関して（項目9, 18, 22, 23）

特別支援教育は、今年度全体保護者会での説明をはじめ、リーフレットの配布等で内容のご案内に努めてきたこともあり、53%の肯定的な伸びにつながったと考えます。

学校では今年度から校内委員会を充実させ、児童の学びの特性の理解やその対応策について、研修の機会をもっています。しかし、児童の発達の特性や個性に応じた指導については、機会あるごとに保護者の方々に説明を尽くす必要があると考えますし、巡回指導の実態や、児童の学習状況が徐々に良い方向に変容していることについてもお知らせしなければと思います。これからも、地道に取り組みながら、皆様にご理解いただけるようにしていきます。



【個に応じた指導に関する研修会】

児童を取り巻く社会環境は、相変わらず厳しい状況にあり、登下校時の安全の確保、自転車の乗り方や不審者への対応、SNS など新たなコミュニケーションツールの使い方など、次々に新たな指導の必要性に迫られています。一方学校教育の内容も、平成30年度から新学習指導要領の移行措置期間に入ることもあり、授業の時間数を勘案しなければ不足を生じる事態も引き起こしかねない状況にあります。また学校で全てを指導していくのではなく、保護者の方々にもご協力をいただきながら、ご家庭でのルールづくり等を通して児童の啓発に当ることの方がより効果が上がると考える内容もあります。学校では今後ご家庭で話題にしていただけのような情報提供を進んで行っていくつもりでいます。ぜひご理解のほど、お願い申し上げます。



【道路のペイント 3年生】

（5）保幼小中連携教育に関して（項目25, 26, 27, 28, 29）

今年度から、第三中学校に加えて、第五中学校とも連携を行うことになりました。6年生児童が、5月と9月の2回、連携校のオープンキャンパスに参加し、学習や部活動を体験します。児童は、こうした体験を通して中学校への進学への不安感を低減させ、中学校への憧れの気持ちをもつことができます。



【五中オープンキャンパス】

また、「乗り入れ指導」として、小学校の教員が中学1年生の各学級に合計4時間、6月には中学校の教員が小学6年生の各学級に合計4時間出向いて、その学校の教員と一緒に授業を行いました。



【三中オープンキャンパス】

このほかにも、6月と12月の年2回小中連携協議会を行いとして、授業を見合うほか、小・中学校の教員が各校の情報を共有したり、実情を話し合ったりする会合をもっています。



【近隣幼稚園との交流 1年生】

1年生は、近隣幼稚園児との交流を様々に進めています。学校内では一番小さい年齢ではありますが、次年度入学する園児を前にすると、その説明の様子や優しく案内する様子は堂々としており、年長の自覚が生まれているように感じます。今年の4月には入学式で歓迎の行事に臨みますが、こうした体験を通して、相手意識も芽生え、どのように迎えたらよいかの意欲も高まっていくものと考えます。

今回お寄せいただいたご意見により、私たちも大いに励まされたところがあります。児童とともに生活するなかで、その心情を理解しながら、丁寧なかかわりを重ねてきた成果は、随所に表れてきたと思います。また、若手教員の占める割合が増加するなかで、ベテラン教員による指導を行ったり、全校体制で指導に当たったりしており、このような教育の質の充実に関する取組は、これからも継続していきます。

同時に、アンケートの項目の内容が分かりにくいとのご指摘もいただきました。これは中野区立学校共通の様式で進めているのですが、私たちも保護者・地域の皆様にご理解いただけるように、教育活動の内容を日頃から分かりやすく、発信し続けなければいけないと強く感じています。

より一層丁寧な説明に努め、保護者・地域の皆様とともに、児童を健やかに育ていける学校を目指してこれからも研鑽を積んで参ります。ご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年度学校教育に関する保護者アンケート結果

* アンケート回収率94.1%

* 比較のため昨年度の結果も掲載しました。

■ 十分 ■ まあ十分 ■ やや不十分 ■ 不十分 ■ 分からない

No.	内容	29年度	28年度
1	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	49% (十分) 48% (まあ十分) 1% (やや不十分) 2% (不十分) 40% (分からない)	52% (十分) 45% (まあ十分) 2% (やや不十分) 1% (不十分) 40% (分からない)
2	学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	20% (十分) 58% (まあ十分) 11% (やや不十分) 2% (不十分) 8% (分からない)	21% (十分) 56% (まあ十分) 12% (やや不十分) 3% (不十分) 9% (分からない)
3	学校は、環境問題にかかわる教育活動を行っている。	17% (十分) 49% (まあ十分) 14% (やや不十分) 1% (不十分) 19% (分からない)	19% (十分) 54% (まあ十分) 9% (やや不十分) 1% (不十分) 17% (分からない)
4	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	22% (十分) 62% (まあ十分) 10% (やや不十分) 4% (不十分) 14% (分からない)	22% (十分) 58% (まあ十分) 10% (やや不十分) 8% (不十分) 8% (分からない)
5	学校は、児童に自他の生命を大切にすることを育てている。	23% (十分) 56% (まあ十分) 9% (やや不十分) 1% (不十分) 11% (分からない)	21% (十分) 60% (まあ十分) 6% (やや不十分) 1% (不十分) 11% (分からない)
6	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	19% (十分) 59% (まあ十分) 7% (やや不十分) 3% (不十分) 12% (分からない)	21% (十分) 59% (まあ十分) 7% (やや不十分) 2% (不十分) 10% (分からない)
7	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	37% (十分) 51% (まあ十分) 8% (やや不十分) 1% (不十分) 3% (分からない)	39% (十分) 50% (まあ十分) 6% (やや不十分) 1% (不十分) 4% (分からない)
8	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	51% (十分) 40% (まあ十分) 5% (やや不十分) 2% (不十分) 3% (分からない)	49% (十分) 41% (まあ十分) 5% (やや不十分) 2% (不十分) 3% (分からない)
9	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。	13% (十分) 40% (まあ十分) 18% (やや不十分) 7% (不十分) 21% (分からない)	11% (十分) 36% (まあ十分) 17% (やや不十分) 7% (不十分) 30% (分からない)
10	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	29% (十分) 60% (まあ十分) 6% (やや不十分) 2% (不十分) 4% (分からない)	33% (十分) 57% (まあ十分) 7% (やや不十分) 1% (不十分) 2% (分からない)
11	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実にも努めている。	40% (十分) 53% (まあ十分) 4% (やや不十分) 0% (不十分) 3% (分からない)	36% (十分) 51% (まあ十分) 10% (やや不十分) 2% (不十分) 3% (分からない)
12	学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	28% (十分) 55% (まあ十分) 9% (やや不十分) 1% (不十分) 7% (分からない)	28% (十分) 54% (まあ十分) 10% (やや不十分) 2% (不十分) 6% (分からない)
13	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	33% (十分) 58% (まあ十分) 4% (やや不十分) 1% (不十分) 4% (分からない)	33% (十分) 55% (まあ十分) 6% (やや不十分) 1% (不十分) 5% (分からない)
14	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	27% (十分) 51% (まあ十分) 9% (やや不十分) 2% (不十分) 11% (分からない)	28% (十分) 52% (まあ十分) 6% (やや不十分) 2% (不十分) 11% (分からない)

		■ 十分 ■ まあ十分 ■ やや不十分 ■ 不十分 ■ 分からない					
15	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	29年度	29%	54%	5%	1%	10%
		28年度	31%	58%	8%	1%	1%
16	学校は、児童の興味・関心や意欲を引き出す授業の工夫をしている。	29年度	27%	59%	8%	1%	5%
		28年度	31%	54%	9%	2%	4%
17	学校は、白桜アンサンブルや留学生との交流、放課後学習等の特色ある教育活動を推進している。 (新規)	29年度	40%	48%	0%	8%	
		28年度	37%	45%	7%	10%	0%
18	学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。	29年度	43%	49%	4%	2%	2%
		28年度	28%	56%	9%	3%	5%
19	学校は、地域の環境や人材を教育活動に生かしている。	29年度	38%	49%	5%	2%	6%
		28年度	22%	49%	8%	2%	19%
20	学校は、たてわり班活動や係活動等を通して、児童に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。 (新規)	29年度	41%	53%	6%	2%	
		28年度	33%	55%	5%	6%	
21	学校は、一人一人の児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。	29年度	41%	52%	5%	1%	1%
		28年度	31%	54%	12%	2%	2%
22	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	29年度	36%	47%	12%	1%	3%
		28年度	28%	55%	12%	1%	4%
23	学校は、児童に社会のルールを守る態度を育てている。	29年度	28%	57%	9%	0%	6%
		28年度	24%	58%	11%	1%	5%
24	学校は、外国語活動を1年生から取り入れ、楽しみながら英語に関わろうとする授業をつくっている。	29年度	40%	45%	8%	3%	4%
		28年度	40%	45%	9%	2%	5%
25	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。	29年度	24%	45%	7%	1%	23%
		28年度	22%	40%	9%	2%	27%
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、児童の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。	29年度	19%	46%	8%	1%	25%
		28年度	17%	47%	7%	2%	28%
27	学校は、乗り入れ指導等を通して、児童に専門性を活かした授業に触れさせ、学習意欲の向上を図っている。	29年度	19%	49%	12%	3%	17%
		28年度	19%	49%	12%	3%	17%
28	学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	29年度	17%	46%	15%	3%	19%
		28年度	14%	40%	20%	4%	22%
29	学校は、幼稚園児・保育園児との交流などを通して、児童に小学生になった自覚をもたせている。	29年度	31%	47%	6%	1%	15%
		28年度	31%	47%	6%	1%	15%